

令和3年7月19日

市政記者クラブ 様

環境局環境企画課 森、樋山
電話 972-2664
(国土交通省と同時発表)

名古屋市が「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の 重点支援団体に選定されました！

このたび、国土交通省が地方公共団体を対象に公募した「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体に、本市が選定されましたので、お知らせいたします。

1 本市の取組概要

令和3年度から「都心の生きもの復活事業」と銘打ち、都心において事業者・市民団体等との協働により、生物多様性に配慮した緑化等を進め、生態系保全と普及啓発を目的としたグリーンインフラの導入手法を検証します。



(生物多様性に配慮した植栽)

2 都心の生きもの復活事業とは

- 生物多様性に配慮したまちづくりを推進するため、事業者・市民団体等との協働により、都心において生態系の回復を図りながら、生物多様性の大切さを伝える場を創出する事業です。
- この一連の事業にグリーンインフラの考えを導入していくため、今回、国土交通省からコンサルタントや専門家の派遣等の支援を受けるものです。

年 度	事業内容（予定）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none">・都心における動植物の生育・生息状況、生物多様性に配慮した緑化手法など、都心の生態系を回復するために必要な基礎調査を実施・都心において事業者・市民団体・地域等と協働で生物多様性に配慮した緑化等を試行的に行うモデル事業を実施
令和4年度	<ul style="list-style-type: none">・オフィスビル等の施設管理者、緑化等に取り組む事業者・市民団体等を対象に、生物多様性に配慮した緑化の手法等についてまとめたガイドラインを策定（令和5年度以降は事業の本格展開を目指す）

<参考>

グリーンインフラ

自然環境が有する多様な機能（生きものの生息・生育の場の提供、雨水の貯留・浸透等による防災・減災、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を積極的に活用して、さまざまな効果を得ようとする取り組み。

先導的グリーンインフラモデル形成支援

国土交通省が、地域でのグリーンインフラ実装の取組に民間の参入や投資を加速させることを目指し、地方公共団体を対象に専門家の派遣や先端的な技術を有する企業等とのマッチング等の支援を行うもの。

(参考 URL)

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000015.html